

支援プログラム（児童支援事業所ぷらみんぽーと 放課後等デイサービス重症心身障害以外）

作成日 2025年 2月 19日

東京リハビリテーションセンター世田谷開設理念	「すべては患者さん・利用者さんのために」を院是・団是とする南東北グループは、地域の皆様とともに、“住み慣れた地域で、生涯いきいきと、安心して暮らせる地域リハビリテーション・ケア体制”の構築をめざします。				
支援方針	”できた”と思う気持ちを大切にし、“やりたい”を引き出す支援を提供いたします。				
営業日	平日のみ（年末年始12/31～1/3は休業）				
サービス提供時間	学校終了後	14：00～19：00まで	送迎実施の有無	あり	迎え： 世田谷区内の特別支援学校に限ります。
	学校休業日	11：00～17：00まで ※夏休み期間のみ3週間程14:00～19：00の時間帯になります。			送り： 自宅送迎は世田谷区の北沢地域・世田谷地域の住所の方のみ。その他はバスポイントになります。帰宅は17:30に施設出発になります。
家族支援	相談： 心理士による保護者サポート（相談）を希望に応じて設けます。看護師による健康面での相談を承ります。 レスパイト支援： 19時までの預かり、長期休暇期間はキャンセル待ちになりますが契約曜日以外の利用ができます。 短期入所との連動： センターの短期入所と連動し、利用日が重なる場合は保護者を介さず放デイ⇔短期入所の利用ができます。		移行支援	<ul style="list-style-type: none"> ・センター内の短期入所や生活介護を併用・移行する際には職員の見学・情報共有を行っております。外部の移行施設においても家族の希望に応じて情報提供を行います。 ・お子さん自身や保護者の希望などを考慮しつつ年齢や発達段階に合わせたサービスの提案をします。 	
地域支援・地域連携	相談支援事業所や学校・他の放課後等デイサービスとのサービス担当者会議・学校運営協議会への参加。児童相談所・医療機関などの関係機関と情報共有を行っています。		職員の質の向上	外部研修： 事業所に隣接している世田谷区福祉人材育成・研修センターの研修の中心に外部研修を受講しています。 内部研修： 高齢者施設・障害者施設（成人）・病院と複合型の施設の強みを活かした15種類の委員会が横断的な研修を行っています。また、放課後等デイサービスとして職種ごとに企画し実施しています。	
主な行事等	季節に応じたカレンダーづくり・クリスマス・長期休暇期間（かき氷づくり・ドライブ・制作活動など）・避難訓練 センター全体で行う“うめとぴあフェスタ”				

支援プログラム（児童支援事業所ぷらみんぽーと 放課後等デイサービス重症心身障害以外）

支 援 内 容 ※お子さんの状態に合わせて支援内容を組み合わせて提供します。

健康・生活

緊急時対応：てんかん発作やアレルギーなどお子さんごとの疾病に伴う健康状況の変化について看護師が聞き取りを行います。
個別支援計画に緊急時の対応について記載し保護者と共有します。

見通し：グループに合わせて活動プログラムの提示方法（一覧・1つの活動毎に外すタイプなど）をその部屋のお子さんに合わせた見通しを持ちやすい環境を提供します。
※お子さんに合わせ個別にプログラムを提示することがあります。

日常生活動作の自立：おやつ・給食などお子さんの嚥下状況に合わせた食事の形態で提供します。楽しく食べる経験から食べれる食材を増やしていきます。
安全に楽しく食生活を広げていけるように食具の使い方・姿勢・スピードなどを環境設定や声かけを行います。
排泄リズムを掴み適切なタイミングでトイレトレーニングを行います。オムツであってもトイレに座る機会や自分で下衣を下げる・上げるなどの動作を促します。
支度・身だしなみを自分で整えられるよう支援します。

運動・感覚

運動： 室内の運動スペースを活用し20～30分程度の運動の時間を設けています。トランポリン・ブランコ・ボルダリング・滑り台・ボール遊びなどを行います。
順番を待つ・「貸して」と伝える・ルール遊びをお子さん同士で考えるなど課題に応じて遊びを促します。
視覚障害のお子さんに合わせて風船に鈴をつけて活動をしたり立体感のある制作物を作成しています。一人で移動できるように手すりのある場所から声かけで移動を促します。

姿勢： 着席の機会を作り、姿勢の崩れやすいお子さんに対し専門職にアドバイスを受けながら環境設定を行います。

手操作： お子さんの状態に合わせて細かい動作（のり・はさみ・シール貼り）などの制作課題を設定します。

本人支援

認知・行動

・お子さんの特性に合わせてグループ分けを行います。

見通し： スケジュールを提示し、はじまりの会で確認をしています。お子さんに合わせて絵カードや写真・現物など特性に合わせて対応しています。

指示理解： マッチング・型はめ・パズル・塗り絵・かるた等、お子さんに合わせて手操作や職員の指示を理解し行動する機会を設けます。

スケジュール管理： お子さんの能力に合わせ、お子さん自身の目標やスケジュールを考えるなどの機会を設けます。

行動： 問題行動に注目せず”できた”ことに注目し、具体的に褒めていくことで良い行動を増やしていきます。

金銭感覚： 発達段階に応じて金銭の支払いの経験を作ります。

言語・コミュニケーション

コミュニケーション手段： ジェスチャーや指差し、絵カード、写真等、お子さんにとって分かりやすい方法でコミュニケーションを取っていきます。
大人の声かけはなるべく短く端的に丁寧な口調で伝えていきます。
例えばおやつの場面では次の自分の行動が分かりやすいように「1番手洗い、2番おやつ」など動作を細分化し伝えていきます。

対人コミュニケーション： 発語がないお子さんであっても他児とやりとりできるよう大人が間に入って代弁します。

呼名理解： はじまりの会の名前呼びで返事をする機会を作り自分の名前への理解・友達の名前の理解を促します。

表出： 表出が難しいお子さんであっても楽しかったことをタッチやジェスチャーで共有・共感し他者とやりとりを楽しむ経験を増やします。
帰りの会で“今日楽しかったこと”を発表し自分の気持ちを伝える・振り返る機会を設けます。

意思決定支援： 2択の回答から選ぶ機会を作り次第に選択肢を増やしていきます。遊びを自分で選択することから将来を自分で選択できるよう支援します。

文字理解： 文字（ひらがな等）の読み・書きを楽しく覚えられるようお子さんに合わせてマッチングやプリント等を行います。

人間関係・社会性

対人意識： 友達を意識できるようブランコに一緒に乗ったり、順番待ちをする機会を設けます。貸し借りの場面を作り我慢する、譲る経験をします。
おままごと等、ごっこ遊び、ルール遊びを通して友達と一緒に遊ぶ楽しい経験ややりとりを通して社会性を学ぶ経験を作ります。

伝え方： 年齢・発達段階に応じて司会をする場面、友だちへの話しかけ方、大人への伝え方等を知る機会を作ります。

自己肯定感： お子さんに合わせた役割を依頼し、褒められる経験を増やします。大人から肯定的な態度を示されることで認められた経験から自己肯定感を高めます。

感情表出： 感情を大人に代弁してもらうことでお子さん自身が自分の気持ちに気付く機会を設けます。